

Hyper Ing 2011

(“Hyper Ing”は上高生を応援する先輩メッセージ“Ing”のパワーアップ号です)

上野高等学校進路指導部 vol.9 2011/12/19

上高の「花道の先輩」ドキュメント その6

上野高校を巣立った先輩たちがどのように学生生活を送っているのか、進路主任の冨澤が大学を直接訪問してお話を伺いました。第6回は2011年8月3日、京都市左京区にある京都大学吉田山キャンパスを訪れました。

第6回：ただ、高みを目指す

京都大学 文学部 人文学科 1年 加藤 友佳子さん



理数科京大体験の際、医学部講義室で。右から松本理彰さん（工学部物理工学科1年）、塩田浩平副学長（医学部、本校卒）、加藤さん、南沙紀さん（農学部応用生命科学科2年）

◇自由と教養を重んじる西の最高学府
——京都大学のシンボル、時計台（写真）
1階の「京大サロン」で取材をしています。
8月ですが学生は結構いますね。
加藤 7月下旬から前期の試験があって、まだ4回生は試験をしています。この時期は大学生より高校生の方が多いですね。
——理数科も見学に来させてもらいましたが、その日（7月19日）は台風でずぶ濡

れになるし、加藤さんは行事の後にスペイン語のテストだったし、帰りは新名神が通行止めだし散々な一日でした。

加藤 私も自転車に乗っていて台風にあおられ、歩行者にぶつかられて怪我をしました。テストはまあ何とかありました（笑）。

——時間割（写真）を見せてもらうと、授業はびっしり詰まっていますが語学の時間は少ないですね。

加藤 スペイン語が2時間、英語が2時間です。文学部は第二外国語で6クラスに分かれていて、私はドイツ語とスペイン語の混合クラスです。第二外国語は別々に受講しますが、英語は合同で授業を受けています。

——英語は自分でとりたい授業を選択するのではなくクラス指定ということですね。どのような内容ですか？

加藤 ネイティブの先生の授業は writing の時間で、“academic reading”といって、英語の論文を集めたテキストを使っています。英文は title, introduction, conclusion などからなっていて、これを critical reading していきます。授業はパソコン室で行われ、まず当番が1章ずつ要約をして、それについて他の生徒がパソコンの掲示板機能を使って英語で質問を書き込んでいきます。final report で、750words ぐらいの英文を提出します。もう一方は reading の時間で、実際は listening なんですけど（笑）、TED（無料で動画配信されることで有名な講演会）を視聴して、プリントの空欄を dictation して埋めていきます。

——加藤さんの英語力からすると、その授業は正直「ぬるい」ですね。他のクラスも同じような内容ですか？

加藤 担当する先生で違います。英作をするクラス、本を一冊買ってひたすら和訳、予習が必要で授業中に当てられるクラス、

三重県立上野高等学校

様々です。私のクラスは楽な方らしいです。京大はある意味「ほったらかし」なので、「どんどん自分でやっていかないと」とは思うのですが、今はあまりできていません。

——名前だけ見ると他にも英語の授業もあるようですが。

加藤 「英語勉強力」は教養の授業で、TOEFL を教材に使っています。「全英語講義」は留学生向けに日本を紹介する英語講義で誰でも受講できます。「英語学」は1回生が受講できる数少ない文学部の講義で、英語の歴史や古英語や中英語について学んでいます。英文学専攻は学部にあがってから「自分のイメージと違う」と言い出す人が多いみたいで、今のうちに英文学や英語学とは何かを把握した方がよい、と先輩に勧められて。

——文学部は、1回生は一般教養をしっかりつける期間で、専門の授業がほとんどないということですね。

加藤 文学部と総合人間学部は特にそうです。法学部や経済学部は専門の授業があります。看護は1回生から専門の授業がほとんどで、学生全員が同じ授業なので仲がいいです。文学部の学生は語学以外で顔を合わすことはあまりないです。

——看護専攻は同じ京大とはいえ成り立ちが違うし、専門職養成機関の色彩が強いです。文学部は横のつながりが希薄ということですが、縦のつながりはどうですか？「先輩に教えてもらって…」という話でしたが。

加藤 私は西さん（本校卒 文学部4回生）に教えていただきました。縦のつながりは特にはないですね。

——自由でもつながりがないと先行き不安ですね。時間割には人文学・社会科学・自然科学と国立流の教養科目が並びます。この「反教育論」というのは？

加藤 毎回教育に関するテーマが取り上げられます。オオカミに育てられた少女の話や、ドイツの身体を矯正する器具など、

教育によって人がどう変わるかを、色々な視点から考えていきます。

——アマラとカマラの話ですね。面白そうですね。「地球科学入門」とは？

加藤 この先生はたまにテレビに出ている人です。マグマの話がご専門で、講義の時の衣装は赤が主です（笑）。「ファッションは人に見せるものだから人への思いやりだ」とかおっしゃっていて面白い先生です。

——私もファラオの格好で授業に行った方がいいですね（笑）。塩田副学長が理数科の京大見学の時に『「ほったらかしの京大」を返上すべく導入した」とおっしゃっていた、1回生にゼミの体験をさせる「ポケットゼミ」はどれですか？

加藤 私が受講しているのは「イギリス詩入門」です。ポケットゼミはどの学部のものを選んでかまいません。第三希望まで

書くことができます。ゼミの定員は10名で、私のゼミは文学部生4人、後は他学部生です。全員でイギリス詩を読み、詩の解釈について教授の話聞き、みんなで詩を解釈して意見交換をします。同じ文学部の友達は「脳について」というゼミを選んだのですが、その人以外は医学部と理学部の学生ばかり、話は完全に理系の話で挫折したそうです（笑）。

——京都大学は大学の中の大学だと感じました。他の大学は1回生から専門の授業がどんどんあるし、大学側が生徒の学習をお膳立する傾向が強まっています。一方京都大学は1回生については教養主義（リベラルアーツ artes liberales）を貫



◆ 時間割

ここは、加藤 友佳子さんのMy Pageです。
あなたの授業登録情報です。

	1	2	3	4	5
月	全国際技術入門 木村 亮 A群 4共30 前期	全人文情報基礎B 大浦 真 B群 情報メ204(情報処理室) 前期	全社会学基礎論 吉田 純 A群 共西31 前期	全現代経済社会論A 柴山 桂太 A群 4共30 前期	
火	全英語講義:教育・文化・人間の一生 岩井 八郎 他 A群 国際交流センター KUINEP講義室 前期	全日本国憲法 見平 典 A群 4共31 前期	全英語IA E1W05 D. ダルスキー C群 共北21(CALL) 前期	全西洋前近代史A 朝治 啓三 A群 4共30 前期	全スペイン語IA(文法) S1101 安達 直樹 C群 共西42 前期
水	全反教育論の系譜学 山名 淳 A群 共北25 前期	全イギリス詩入門 柱山 康司 A群 1共21 前期	全スペイン語IA(実習) S1202 M. アギラル C群 1共01 前期	文・英語学(講義) 家人 葉子 8講 前期	全化学の基礎化学Δ 馬場 正昭 B群 共北26 前期
木	全英語講義:現代日本の大学・大学生 清上 慎一 A群 国際交流センター KUINEP講義室 前期	全スポーツ実習IA「バレーボール」 田中 真介 D群 総合体育館 前期	全英語IA E1R05 黒田 航 C群 共西03 前期	全日本語の歴史 大槻 信 A群 情報メ地下講義室 前期	
金	全教育学基礎論 福井 直秀 A群 情報メ地下講義室 前期		全地球科学入門I 鎌田 浩毅 B群 4共11 前期	全地球科学入門II 鎌田 浩毅 B群 4共11 前期	全英語勉強力I 青谷 正安 A群 国際交流センター KUINEP講義室 前期

き、生徒の自主性を尊重しています。加藤さんから見て他の京大生はどんな様子ですか？

加藤 うーん。「要領がいい」ですかね。

——それは加藤さんとは真逆ですね（笑）。どの辺が「要領がいい」のですか？

加藤 京都大学は単位を落としても成績表に載らないんですよ。だから最初にめいっぱい授業を登録して、出席して興味がわかなければ途中でやめてしまう、という人が多いです。

——昔風ですね。今は多くの大学がGPAを導入しています（Grade Point Average：優、良、可、不可を数値化してその平均で学生を評価する。欠席や不可は0点とカウントされ、アベレージを下げる原因となる）。

加藤 出席点がある授業もありますが、出席をとらず、レポートとテストだけで評価するものが多いです。だから出席しないで、テストだけ受けて、レポートをめっちゃ書いて単位を取るという人もいます。

——「要領がいい」ですね（笑）。でも授業に出席せずどうやってレポートを書いたり試験勉強をするのですか？

加藤 ある先生は、オリエンテーションで「この日は必ず出席してください」とレポートを出す日を教えてください。授業で使ったパワーポイントは京大のサイト（KULASIS 京都大学教務情報システム）にすべてアップされているので、レポートのある日だけ出席して後はアップサイトを見てテスト勉強するとか、ノートを借りたりとか。学部によって専門の授業になると様子は違っていると聞いていますが。

——学部の先生が1回生向けの教養の授業に応援に来た場合、そうになってしまうことはあり得ます。

加藤 こういう話をあまり高校生にしない方がいいですか？（笑）

——問題なしです（笑）。古き良き時代の大学ですね。流されずに学生自身が勉強すれば済むことです。

加藤 姉（加藤久美子さん 大阪大学文学部3回生）の話を聞くと、阪大は出席をとる授業が多いし、授業に全然出ない人はいないようです。京大は授業に出ないで自分の好きな本を読むことも可能です。でも周りに流されたら遊びまくってしまうこともあるので自分の意志をしっかりと持つことですね。そういう「自分で考えてやれる人」が京大には揃っていると思います。一般教養で興味を持ったことを自分で深く掘り下げて調べてみる、といったような。

——教養で「ほったらかし」にする京都大学の狙いはそれです。先ほどの先生もたぶん同じです。自ら疑問を持ち、課題を探す姿勢を1回生のうちに身につけておかないと、卒論のテーマ選びで早々に行き詰まります。

加藤 例えば西田結香（名古屋外国語大学1回生）の大学は、英語の授業がたくさんあって、「決められたことをやって力をつける」という感じだそうですが、京都大学では看護は別として、やりたいことを授業の中に求めすぎは駄目だと思います。この講義をとったらこういう力がつく、というのは感じないですね。

——今は高校と同じ感覚で「受け身体質」の大学生が多いようです。看護や外国語系はまだしも、学生だけでなく大学側も「これをとったらこれができる」にこだわり過ぎているように感じます。



◇京都大学を目指す理由

——加藤さんが感じる京都大学の魅力とは何ですか？

加藤 うーん難しいですね（笑）。敷地の中にすべての学部が揃っていることですかね。後は図書館の設備とか（写真）。中央の図書館以外にも各学部に図書館があります。私は講義の合間は教養の講義がある総合人間学部の図書館で勉強しています。

——中央の図書館は24時間営業だとか。

加藤 24時間あいているのは自習室の部分で、図書のある部分は10時までです。でも10時になって自習室に移動してもすでに満席です。特にテスト期間中はすごい人です。京大は4月には人がいっぱい、ゴールデンウィークを過ぎたら一気に人が減って、7月になったらまた人が増えて「あれ、この人授業にいったっけ？」みたいな感じです（笑）。

——アルバイトはやはり京大ブランドを活かして家庭教師？

三重県立上野高等学校

加藤 家庭教師の募集が時計台で行われていますが競争激しいです。塾講師が多いですね。私は飲食関係ですが。

——そろそろ本題ですが、加藤さんが京都大学を目指したのはいつ頃で、なぜですか？

加藤 (かなり考えて) 私いつ頃から京都大学って言ってましたっけ？(富澤が2,3年次の担任)。1年の集会で進路主任の渡辺先生が「原さん(文学部卒)は1年生の時から京大を志望校に決めていた」という話をされていて、「京都大学を目指すなら早く決める必要がある」と思っていました、まあこんな調子で(笑)、本当に決めたのは2年生かな…。今だから言いますが、「京大受ける」と言いながら心の底では「まあ無理かな」と思っていました。家族からも「無理だ」とさんざん言われましたし(笑)。また、「上を目指したい」という気持ちと同時に「外国語学部に行きたい」というこだわりもありました。

——英語は1年生の時から既に突き抜けていましたからね。

加藤 入学した時点では東京外国語大学に行くつもりで、1年生の担任の二階堂先生にそういう話をした覚えがあります。父はその頃私に三重大学の医学部を勧めていて、面談でその話をしたら先生も「じゃあ挑戦したら」と言うし(笑)。1年生の時はそんな感じだった気がします。中学の先輩の井元さん(医学部3年生)の話では医学部は勉強が大変だそうです。

——加藤さんはセンター試験91% 記述偏差値70、合格可能ラインです。でもアバウトな加藤さんが医者というのはちょっと(一同笑)。ではなぜ京大なのですか？「校風や研究内容に惹かれて」といった理由でないことは明らかですが。

加藤 できなさそうなことに挑戦したかった…みたいな？

——そうそう、その動機はいいですね。「できなさそうなことに挑戦したくなる」のは加藤さんの性質？

加藤 無理かなと思いつつ…私は負けず嫌だから。私は家の中では一番年齢が下じゃないですか。だから自動的に家族の中で私は実力的に一番下なわけで。姉は小さいときから物知りで、姉が阪大に合格して私が京大なんて無理、って家族は言うし、私も無理かなと思っていたけど(笑)、でも高校1年生の時から定期テストの勉強をめっちゃ頑張っていて、それで結果が出たら嬉しかった。そういうことを毎回積み重ねてきて、執着心というか「やると決めたら徹底的にやって結果を出す」ことには自信がありました。定期テストで身につけたこの方法で校外模擬試験も良い結果を出したし、無理かなと思える「京大を受ける」という漠然とした目標も、同じように徹底的にやって結果を出すことができるかなと思いました。

——なるほど、少し見えてきました。

加藤 東京外国語大学は位置的に無理というか、祖母に「東京いかんといて、寂しいから」と言われて(笑)、それで阪大の外国語学部を考えましたが、当時の模擬試験の判定では合格圏内で、このままの成績を維持するのではなく、もっと上を目指せるのではないかと考えていたと思います。

——東京外国語大学は遠い、大阪大学では物足りない、そう考えれば残すは西日本の最高学府である京都大学しかありませんね。ここで解説をしてもどうかと思うのですが。

加藤 解説してください(笑)。

——私は、シンプルに「上を目指す」という動機こそ、京都大学を目指す上でもっとも重要な鍵だと思います。「自分の限界に挑戦する」と言い換えても良いでしょう。「なりたい職業」や「必要な資格」という発想だけで大学を目指す、途中で妥協してしまう可能性があります。加藤さんの「負けず嫌い」な性格と「やると決めたら徹底的にやって結果を出す」という自信の程を、私は2年生の後半に知ることになります。しかし、京都大学に外国語学部がないことがこの後加藤さんを悩ますconflictの原因になろうとは、この時はまだ知る由もありませんでした(一同笑)。

◇納得するまでが勉強

——2年生の時期はどのような勉強をしましたか？

加藤 まずは学校の予習、復習、宿題を丁寧にやっていました。あとテスト勉強と。

——加藤さんはテニス部に所属していて、塾にも通っていました。帰宅すると9時過ぎです。面談の時に「寝るのが午前1時ぐらい」と話していましたから、帰宅してからさらに3時間近く勉強していた計算になりますね。

加藤 私はやり出したら徹底的にやらないと気が済まないです。特に定期テストや校外模試はどの回もめっちゃ本気で、すべての教科納得いくまでやっていました。それで模試の結果が帰ってきて、頑張った分だけいい成績が出たら嬉しくて。

——Z会の添削もやっていましたよね。

加藤 国語は標準コース、英語は得意だったので京大コースをしていました。「京大はこんな問題が出るんだ」と思い、どれだけ難しくても楽しく取り組みました。添削が戻ってきたら復習をして、解説書(『旬報』)を読んでいた。

三重県立上野高等学校

——学校の成績も模試の成績も常に最上位でした。3学期には英検準1級に一発合格しました。並大抵ではありません。

加藤 英検準1級の勉強は少しずつ続けていましたが、本格的に対策を始めたのは1月に入ってからで、直前2週間は「どこからどこまでやる」と細かく計画を立てて勉強しました。この期間にもものすごく英単語を覚えました。二次(interview)は最低点プラス2点でしたが(笑)、筆記はまずまずの出来で、この経験は自信になりました。

——この頃から人前でしゃべるのは苦手でしたね(笑)。私はこの時に加藤さんの「負けず嫌い」、目の前に困難なことがあれば何があっても乗り越えようとする執着心を目の当たりにしました。加藤さんがこの力を上手に使うことができれば京都大学に合格できる、と確信しました。ただ、加藤さんは何もないとのんびりしてしまうというか、だいたい英検も4月は準2級を受けると言うし、「(偏差値70超えてるのに)何を考えとんのや」と思いました(笑)。

加藤 結果的に2年生で3つ受けましたよね(笑)。

◇高みを目指すものだけが味わう、「自分との戦い」という恐怖

——順調に力をつけてきた加藤さんですが、3年生になったとたん様子がおかしくなります。何があったのですか？

加藤 やっぱり…、目の前に迫ってきて、怖かったです。これまでは漠然と京都大学と言っていましたが、いざ志望校を決めるとなると、「他に確実に合格できるところがあるのだから、何も怖いことをしなくていいのでは」と悩みました。

——4月の時点で、加藤さんは大阪大学外国語学部合格に十分な力をつけていました。6月ぐらいまでそんな様子が続きますが、それでもその「怖いもの」に立ち向かおうと思ったのはなぜですか？

加藤 原さんが教育実習に来ていて、色々話をして…。怖かったけどあきらめるのは無理でした。

——さんざん悩んだあげく、加藤さんは放課後に職員室にやって来て、「えーっと…、あの一、京大受けます」と。

加藤 懐かしいですね(笑)

——そのとき私は確か「あなたからその言葉を聞きたかった」と言いました。京都大学は「何があっても京大」という強い執着心を持つ人だけが立てる場所です。私は加藤さんに「京大は自分を磨く最高の場所」と勧めはしましたが「受けなさい」と言ったことは一度もないはずです。3年の夏休みはどういう勉強をしましたか？

加藤 ひたすら二次試験に向けての勉強をしました。夏休みはたくさん時間がとれるし、私はやり始めたら集中して勉強できるので、大まかな計画を立てた上で、どの教科も納得いくまで徹底的に勉強しました。特に数学の記述を頑張った記憶があります。英語は「英文読解の透視図」「竹岡広信の英作文<原則編>が面白いほど書ける本」を使って英文解釈や英

作文の練習、世界史は復習、国語は問題を解きました。二次試験では考えて書くことが大事なので、時間がたっぷりとれる夏休みに練習を重ねました。この時に身につけた力は二次試験だけでなくセンター試験でも活かすことができました。

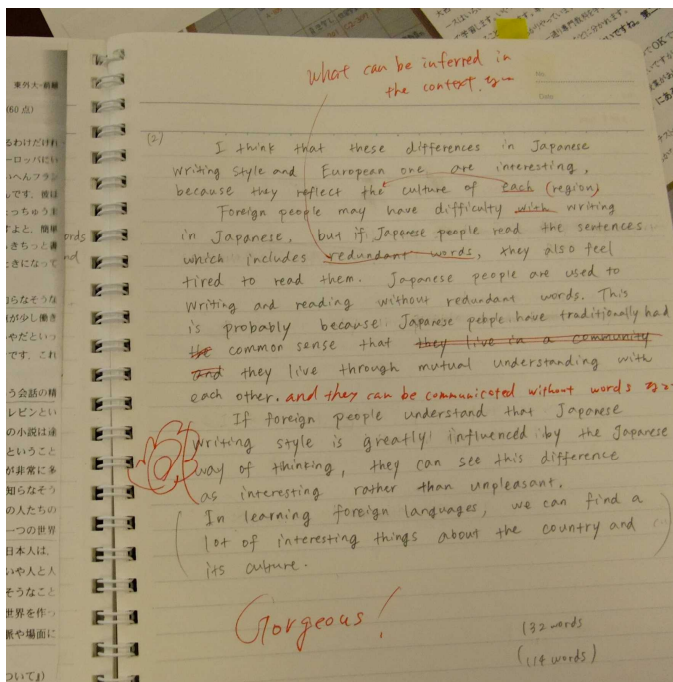
——夏休みは家でじっくりと勉強するのがもっとも効果的です。一日12時間以上は勉強していますよね。

加藤 私は机の上に参考書を全部広げて勉強するのが楽しくて。自室以外では客間の大きな机で勉強しました。あと、過去問を解くよりは過去問を解ける力を養うことを心がけました。オープン模試はその仕上げのつもりで臨みました。

——京大オープンや全統模試で好成績をあげるのですが、3年の秋にまたへこみます。口から出るのは「学部どうしよう…」なのですが、本当のところは？

加藤 逃げたかったです(笑)。どんなにやっても自信が持てない。落ちるのが怖くて確実に合格できる場所にしようとか。夏休みはがむしゃらでしたが、秋になって過去問を解いていると受験が迫っていることを実感して、怖かったです。

——どれだけ勉強しても合格する保証はありません。担任は「京大を受験する人が『学部が…』とか贅沢」と取り合わないし、他の先生に相談に行っても結論は出ません。「やっぱりやろう」と思い直したきっかけは？



加藤 怖いけどあきらめるのは嫌でした。たぶん「京都大学に行く」ということに何か理由が欲しかったのだと思います。でも、いくら悩んでもここまでやって来た以上はやるしかない、と思いました。

——ある日加藤さんは私のところにやってきて、「阪大の法学部（公共政策）が面白そう」と言ったと思ったら、ボロボロ泣いて「でもここまで積み重ねてきたことを無駄にするのは嫌です」と言うので、「そう思うなら、悩んでいいけど『悩むと勉強が手に着かない』とかはやめて」と追いつめた覚えがあります。やるしかないのです。どこまでも冷たい担任です（笑）。

加藤 そう言われたことを覚えています。先生もよく覚えていますね（笑）。

——しかしこの騒動が響いて最後の全統記述模試はボロボロ、オープン模試もC判定まで後退しました。

加藤 田端先生（理科 京大卒）にも「このままじゃ駄目ですね」と冷たいことを言われました。

——詳細は秘密ですが、私は一年間田端先生をひたすら観察して、京大卒の知人や過去受け持った京大合格者と比較し、共通点を抽出して「京大に合格する人は何ができるか」仮説を立て、加藤さんの指導に役立てました。田端先生様々です。

加藤 それはありがたかったです（笑）。

◇合格を左右する「最後のピース」

——最後の冬はセンター試験の追い込みですね。

加藤 私は国語と日本史でなかなか得点できませんでした。センター対策は直前と決めていたのですが、志望大学は違うとはいえ着々とセンター対策をしている友達を見て正直焦りはありました。冬休みにひたすら過去問を解いたり、日本史をめちゃ勉強して、センター試験では思っていた点数が取れました。ここでも定期テストの経験が活きたと思います。

——センター試験で91%、スタートラインに立ちました。化学をしくじったので総合人間はちょっと危険（センターは理科のみ点数化される）、そこでセンターの貯金（約+10点）が使える文学部に出願しました。2月の勉強は？

加藤 ひたすら過去問をやって先生方に添削をしてもらいました。英文解釈は自分で、英作は浜田先生に見ていただきました（写真）。世界史は冨澤先生に。数学はわからないところを先生に質問し、国語は東進の添削をやっていました。

——ここまでくれば後は過去問をやり込んで「最後のピース」を手に入れるだけですが…、まさか最後に試験が待ち受けているとは。前期試験の2週間前、堀内未代理さんが自宅の火事で亡くなりました。加藤さんと堀内さんは1年生の時同じクラスで、加藤さんが腰の手術をして不自由しているときに、堀内さんが真っ先に手を貸してくれたと聞いています。

加藤 自分は今何をやっているのか、なぜ勉強をしているのか、本当に無気力になってしまって勉強のことが考えられなくなりました。私の周りは皆同じ状況でした。でも「それは未代理が望んでいることではない」と先生も言われていたし、私も同じように思っていて、だから未代理とお別れした後は少しずつ切り替えました。

——この時ばかりは正直どうかと思いました。でもその後学校に現れた加藤さんは、勉強に打ち込んでいる人だけが到達できる、神経が極度に研ぎ澄まされた姿でした。矢田先生は「近寄りがたいオーラが出ている」と表現していましたが。

加藤 そんなに怖かったですか（笑）。

——京都大学には「これとこれをやっておけば合格できる」という小手先ごとは一切通用しない。その人のいわば「芯」が問われます。そのためには抜群に抽象度の高い過去問と類題をやり込み、自分を極限まで追い込んで、何がきても対応できるクリアな状態で試験に臨み、自分の持てるすべてを答案にぶつける。これこそ私が加藤さんに求めている「最後のピース」です。しかし、そこまで準備が整っても試験前日はなかなか寝付けなかったとか。

加藤 母は横で寝息を立てているのに（笑）。あの時ニュージーランドで地震があって、日本人の留学生が亡くなったのをニュースで見ました。とても変な気持ちでした。被災者がいる中で私は明日今まで勉強してきたことを試すのだ

なって。でも私は私のすべきことをしなければならぬ、あれこれと考えていたら緊張感もあってなかなか寝付けなくて。でも朝起きたら「もう来たな」って感じで落ち着いていました。初日は国語と数学でしたが、できたかどうかよりも「やりき



三重県立上野高等学校

った」という感じで、これで落ちてでも納得がいく、というすっきりした気持ちでした。その日はゆっくり眠ることができ、2日目は得意な英語で自分の力を発揮する、世界史は今まで積み重ねてきたことを出す、という気持ちで臨みました。世界史は富澤先生に添削してもらったノート5冊をホテルに持って行って見返していました。今も持っていますよ（写真）。引越しの時になぜか持ってきてしまって（笑）。辛くなったときに開こうかと。

——この世界史の添削は試験対策だけでなく、日常的にもものを考え、繋がりや意味を見つけて文章にまとめるという、文章を書くのが苦手な加藤さんを鍛えるトレーニングでもありました。

加藤 世界史の論述は楽しかったです。ダメ出しされてばかりでしたが（笑）。

◇山の頂上から見える景色

——長い道のりでした。見事に京都大学に合格します。番号を見つけたときは？

加藤 12時になってすぐパソコンで発表を見たのですが、「はぁ〜〜っ」みたいな（笑）。その後家族に電話して、友達にメールしたらみんなが喜んでくれて、それで「ああ、受かったんや」と実感しました。先生にも連絡しましたよね。一番応援してくれた姉には電話で「お姉ちゃん！どうなったと思う？」と（笑）

——家族の支えがあつてこそです。「はぁ〜〜っ」ですか。険しい山の頂上にたどり着いた時の「終わった感」に似ています。高い山に登る楽しさには二つの理由があります。ひとつは過程です。高ければ高いほど困難がつきまといますが、クリアする楽しさも正比例して大きくなります。もうひとつは「高い山は見える景色が違う」。加藤さんには京都大学だからできる「高度な学び」に挑戦することを切に望みます。理数科の京大体験の時に「専攻は英文学か西洋史かで迷っている」と話していました。京大の歴史学科にはどの専攻にも最高水準のスタッフと研究資料が揃っています。しかしあの世界史の論述を知っている私は一瞬耳を疑いましたが（笑）。

加藤 2回生で文学や歴史など、どの専攻に行くかをおおまかに決めた上で専門の授業をとります。3回生で専攻が決まります。文章を書くのは…、レポートは今も苦しんでおります（笑）。

——さて、最後に上野高校の後輩に対してメッセージをいただけますか？

加藤 先日、理数科の生徒の前ではうまく話ができませんでした（笑）。何を言ったらいいですかね。

——今日お話を伺って思ったのは、加藤さんは平然と12時間以上勉強し、やり始めたら納得いくまで続け、課題が難しければ難しいほど力を発揮する。どれも根は同じところにあります。これをすれば「誉められる」とか「有利だ」ではなく、ただ「目の前の強い敵をやっつけたい」という欲望ですね。

加藤 私は常にそうしていないと納得いきません。頑張ってやり遂げることの楽しさや嬉しさを、小さな経験から積み上げてきて、より大きな楽しさを味わいたかったです。まず「何かを超えたい」という気持ちがあつて、超えたい相手が大学入試なら、そのために必要なのが勉強です。高校生にとって大学入試は一番の挑戦です。自分が頑張ったらできることだし、

目標を持って挑戦して「自分は頑張った」って思えなければもったいないじゃないですか。

——「大学に合格しなければならない、だから勉強しなければならない」では勉強していつまらないですね。受験はロマンあふれる冒険、困難に立ち向かう中で自分が成長していくことに喜びを感じたいものです。来年の京大見学ではいい話を聞かせてください。ありがとうございました。

加藤 あと「進路のことで困ったら富澤先生に相談するように」を付け加えておいてください。必ず（笑）。



理数科の1年生に体験談を話す加藤さん

三重県立上野高等学校

京都大学おまけフォト



京大と言えばやはり立て看板。でもおとなしくなりました。 そうかと思えば…「松本」は総長の名前。カンニングの件みたいです。



工学部の古い建物。最新の施設は宇治と桂にあります。



文学部の資料館。貴重な遺物が収蔵されています。



百万遍のマクド。テスト中は京大生が席を占領するので
「京大生テスト勉強禁止」の通達が出たとかでなかったとか。



付近には銀閣、下賀茂神社など名所・旧跡がいっぱい。
京都は学生の街。キャンパスライフを満喫できます。

三重県立上野高等学校